

福建協技第 121 号
令和元年 12 月 18 日

各 支 部 長 様

一般社団法人福島県建設業協会
会 長 長 谷 川 浩 一
(公 印 省 略)

「工事運営のコミュニケーション場面に強くなる講座」 (CPDS対象)の開催について

時下 益々ご清栄のことと存じ上げます。

本講座では、工事現場を中心として、施工管理を担う技術者が利害関係を持つ発注者、協力業者、近隣住民等との良好な人間関係のもととなる意思伝達コミュニケーション技術を身につけていただきます。コミュニケーションの基本、話す（相手に伝わる）力・聴く（相手が話し易いと感じさせる）力・書く（読む相手が分かりやすい）力の基礎が理解することができます。講座では、工事現場での事例場面を取り入れ、ご参加者にとって身近な内容になっています。

なお、本講座は(一社)全国土木施工管理技士連合会CPDS(継続学習制度)において、6単位を付与致します。【プログラム登録番号:申請手続き中】

つきましては、貴職より支部傘下の会員企業にご周知いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

記

- 1、日 時: 令和2年1月23日(水) 10:00～17:00
- 2、場 所: 福島県建設センター2F(福島市五月町4番25号)
- 3、対 象: 現場代理人等
- 4、定 員: 42名
- 5、受 講 料: 無料
- 6、講 師: 株式会社日本コンサルタントグループ
建設産業研究所 コンサルタント
菅原^{すがわら} 政郎^{まさお} 氏
- 7、共 催: (一社)福島県建設業協会、福島県土木施工管理技士会、福島県公共工事
品質確保・安全施工協議会

8、カリキュラム

1、建設技術者の工事円滑化能力を磨く 1) なぜ工事が円滑に進まないか 2) 円滑に進めば利益確保ができる対人能力
2、現場代理人のコミュニケーション能力とは 1) 発注者、協力業者、近隣住民への工事説明で好感を与える基本行動 2) 発注者、協力業者、近隣住民の真意を探る効果的な質問
3) 正しく伝え、信頼を得るための説明力 4) 論点をまとめる力、書く力
3、現場代理人のコミュニケーション演習 例) 発注者への説明場面、協力業者への指示場面、近隣への挨拶場面 等

※演習は、6人程度までのグループを想定し最大7グループを講師が実践指導

9、テキスト： 課題・ワークシートを当日配布します。

10、申込方法

○別紙「申込書」に必要事項を記入の上、令和2年1月17日（金）までにメールでお申し込み下さい。

○申込先：（一社）福島県建設業協会 Email:gijutsuka@e-fukuken.or.jp

○受講票の発行はいたしません。申込確認が必要な場合は電話で事務局技術課に確認をお願いします。（TEL 024-521-0244）

○定員を超えた場合はこちらからメールまたはお電話にてご連絡いたします。

（注意）申込書は、必ずエクセルシートに記入したものを、そのままメールに添付してください。 手書き入力、またはPDFのものは無効とさせていただきます。

11、持参物： 筆記用具、電卓、定規

12、注意事項： ○PCは使用しませんので、持参不要です。

○昼食は、各自で手配をお願いします。

○キャンセル不可となりますので、必ず代わりの受講者を参加させてください。

○定員を超える申込があった場合は、調整させていただきます。

13、証明書： 本講座は、CPDS対象講座です。CPDSが必要な方は、受付時に本人確認を行い、講座終了後に受講証明書を発行いたしますので、運転免許証、監理技術者証等、本人確認ができるものを持参願います。

（名刺不可。本人確認ができない場合、受講証明書の発行が出来ない場合がありますので、ご注意下さい。）

【技術課： 所、堀越】